

尾張藩の甲賀忍者史料

忍術史料をひもとく②

日本遺産に認定されている甲賀忍者。6月18日(日)に忍者検定が行われますが、それにちなみ、「リアル忍者」を根拠づける古文書を紹介します。シリーズで紹介していきますが、第2回目は、尾張徳川家の甲賀者が残した忍術伝書です。

江戸時代に名古屋城を本拠とした尾張藩徳川家は、甲賀忍者を雇っていたことは有名で、前回(広報こつか3月)紹介した甲南町杉谷の渡辺家もその一員です。彼らの頭を務めたのが水口町杉中出身の木村奥之助です。各地にこの人物が関わった忍術伝書が残されています。

- ① 泰平の世では忍びの地位が低いこと
 - ② 忍術をきちんと伝授できる者が少ないこと
 - ③ 道理で説明できない忍術が不信感を持たれていること
 - ④ 秘密性が高いため伝承が難しいこと
- 江戸時代の忍びの実態と微妙な立場を、忍び自身が語った史料となつていきます。
- このほか、尾張藩の旧蔵書を中心とする名古屋蓬左文庫には、「甲賀伝」「伊賀伝」という、木村奥之助と竹之下平字の2人の忍術の「先生」が伝えていたと思われる「伝」が随所に引用される解説書など、何種類かの忍術伝書が残されています。いずれも「甲賀の忍術とは何か」を考える上で重要になってくる予定です。
- 今回紹介した史料は、二〇一八年刊行の報告書『甲賀者忍術伝書』に収録しています。甲賀忍者が抱えていた問題や、甲賀者と伊賀者に果たして違いがあるのかなど、調べてみるのも面白いかもしれません。

甲賀と伊賀で違う忍びの定義

伊賀伝曰、其事ヲ神秘隠密スルカユヘニ忍ト云、甲賀伝曰、人ノ耳目ヲ忍フユヘニ忍ト云、

—蓬左文庫蔵「用間伝解 完」

※報告書の購入は、甲賀流リアル忍者館(TEL70-2790 FAX70-2659)まで。
 問合せ 歴史文化財課 普及活用係 TEL69-2252 FAX69-2293



みんなの図書館

6月15日~
7月14日まで
の行事予定

行事名	内容	開催日	時間	場所
対面朗読	対面朗読 *事前予約要	6月16日(金)	13時30分~ 15時30分	甲南図書交流館
		7月 7日(金)		
ギャラリー	令和5年度 教科書展示会	6月2日(金)~6月30日(金)		甲南図書交流館
	土と炎が織りなす信楽紀行写真展	6月25日(日)~7月23日(日)		信楽図書館
その他	女性のためのビジネス読書会	7月5日(水)10時30分~12時		水口図書館

開館時間 10時~18時 ※甲南図書交流館の夜間開館は休止しています。
臨時休館 6月18日(日)~24日(土) 信楽図書館(蔵書点検のため)
 6月20日(火) 市内すべての図書館(図書館システム点検のため)
 最新の情報は図書館ホームページ等でご確認ください。

問合せ 申込み

- 水口図書館 tel 63-7400 fax 63-4737
- 土山図書館 tel 66-1056 fax 66-1067
- 甲賀図書情報館 tel 88-7246 fax 88-7005
- 甲南図書交流館 tel 86-1504 fax 86-1505
- 信楽図書館 tel 82-0320 fax 82-3921

休館日 閉館日

- 木・金・第3水曜日
- 月・火・第4金曜日
- 木・金・第4水曜日
- 月・火・第4水曜日
- 月・火・第4木曜日

図書館の詳細情報は左記または甲賀市図書館ホームページまで

http://lib.city.koka.lg.jp



共生社会の実現を!

個性を理解し、尊重しあえる社会に向けて

現在の世の中は、あらゆる情報があふれており、障がいのある方に関わらず、必要な情報を集めることが難しくなっています。また、障がいがある方への情報発信の方法は限定されているのが現状です。

今回は、障がいがある方へ簡単に情報を伝えることができるスマートフォン・タブレットの便利なアプリをご紹介します。

紙が話す 耳で聴く

1つ目は、印刷物の内容を読み上げてくれるアプリです。このアプリを使えば、視覚障がいの方やお年寄りの方への正確な情報発信が可能となります。

聴覚障がい者とのスムーズなコミュニケーションへ

2つ目は、音声で文字を交換したり、文字を音声に変換することができるアプリです。このアプリを使えば、聴覚障がいの方との意思疎通を簡単にできます。

代表的なアプリ

Uni-Voice

※使用するには、印刷物に専用のコードを印字しておく必要があります。



代表的なアプリ

こえとら



問合せ 障がい福祉課 TEL69-2161 FAX63-4085

vol.8
 便利なアプリを使用して情報を伝える